

## 令和元年度（平成 31 年度）事業報告及び決算

## 本部事業

## 理事三役会及び会長会等による事業推進

## ①政策提言や要望活動

広島県障害者自立支援協議会や広島県障害者施策推進協議会他多数の会議に出席し、県大会決議内容を含めた、地域育成会の様々な声を集約し、施策に反映できるよう、国・県の予算等への政策提言・要望活動を展開する。

## ②理事三役会の開催

本部事業を円滑に遂行するために、三役会を毎月開催し、様々な事業振興を協議し、また、財政基盤の健全化等について話し合う。（毎月 1 回）

## ③地域育成会会長及び事務局長会、施設保護者会長会の開催

地域育成会及び施設保護者会との有機的な連携を図るため、地域育成会会長及び事務局長会、施設保護者会長会を開催し、情報や問題意識を共有化する。

## I 社会啓発・研修事業

「すべての県民(国民)が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する。」(障害者基本法)ための社会啓発・研修事業

## 1 社会啓発事業

## (1) 権利擁護事業

虐待防止法等を含め障害者の権利擁護を啓発してきた。

## (2) 会報・リーフレット等による情報発信

全育連発行の機関紙「手をつなぐ」の購入促進に努めた。

「会報」第 104 号（令和元年 7 月 1 日 7, 700 部）、

第 105 号（令和元年 9 月 1 日 7, 500 部）、

第 106 号（令和 2 年 3 月 20 日 7, 700 部）を発行して情報提供を行った。

## (3) ホームページの公開

研修会やスポーツ行事等の情報提供の更新に積極的に努め、情報提供を行った。

## (4) あいサポート運動等を活用した、あび隊による啓発活動

あび隊の活動を通して、学校の子どもたちや保護者・教職員の方々へ「知的障害・発達障害」の理解を深めてもらうことに努めた。

## 2 研修・調査事業

(1) 研修（各種大会） 下記の大会に県内各地から参加し、研修した。

① 中国・四国大会(岡山大会) 令和元年 10 月 19 日（土）・20 日（日）多数参加

「一般大会」第 3 分科会【高齢期】提案者；社福「ゼノ」少年牧場 久保田史章さん

「すまいる大会」第 3 分科会「災害」発表者；神辺さくらの会 友田大輔さん

② 全国大会（熊本大会）令和元年 11 月 23 日（祝）・24 日（日）多数参加

- ③ 県福祉大会（呉大会） 下記のように開催し県内各地から参加し、研修した。
- ・事業名 第45回広島県知的障害者福祉大会・第18回はつらつ大会(本人大会)
  - ・日時 令和元年11月17日(日)
  - ・場所 (一般大会)新日本造機ホール(くれ絆ホール)  
(本人大会)IHIアリーナ呉(呉市体育館)
  - ・参加者 参加総数約520人(内本人284名)※ボランティアも含む)
  - ・メインテーマ 「共に支え合う地域づくり」
  - ・内容 《一般大会》主題：「相談支援専門員としっかり話し合いをし、今何をすべきか、本当に必要な支援は何かを明確にしよう」  
午前；開会行事・表彰(合同)ならびに来賓挨拶  
講演会 講師 惣万 佳代子氏(NPO 法人デイサービス「このゆびと一まれ」理事長)  
演題「あったか地域の大家族 ～富山型デイサービスの26年～」  
午後；座談会  
テーマ「相談支援専門員と共に」  
大会決議・閉会行事  
《本人部会》主題；「みんなで、輝く未来へはばたこう」  
午前；開会行事ならびに来賓挨拶
    - ・行政との話し合い
    - ・本人意見発表会
    - ・又村さんのお話
 午後；・又村さんと勉強会
    - ・レクリエーション①歌おう ②踊ろう
 大会決議・閉会行事

(2) 子育て家庭から高齢期家庭への支援委員会

平成29年度作成し同30年度に改訂した、相談対応マニュアル「知的・発達障害がある子を育てるQ&A」を、地域での研修会等を通じて、配布し活用を図った。

(3) 地域育成会の活性化事業

全育連の地域育成会活性化助成金や国庫補助事業助成金等を積極的に活用し、子ども期から高齢期までの障害者福祉全般にわたる研修、講演会やセミナーを実施することにより、地域育成会の活性化及び地域における新たな会員確保と次世代の活動を促進するように努めた。

① 全育連の地域育成会活性化助成金関係

- ・事業内容；多様な暮らしを考えよう～映画「道草・この街で暮らす」に学ぶ研修会
- ・申請団体；北部手をつなぐ育成会ゆるるん
- ・実施日； 令和2年2月24日(月祝日) 13:30～16:00
- ・会場； みよしまちづくりセンター ペペらホール
- ・参加者数；95人(内未成年者10人)

② 国庫補助事業助成金関係

- ・事業内容；地域巡回・本人による本人のための相談会 事業
- ・申請団体；広島県手をつなぐ育成会・広島県はつらつ友の会

- ・実施日； 令和2年1月26日（日） 10：30～15：15
- ・会場； 育成会総合福祉センター
- ・内容； ○学習会「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送るには」  
 講師 伊藤 志麻穂氏（広島市西区障害者基幹相談支援センター  
 地域体制整備コーディネーター）  
 物部 義之氏（広島市手をつなぐ育成会相談支援専門員）
- なんでも相談会  
 本人相談員 岡本仁さん（福山仲良し会）、兼森路子さん（神辺さくらの会）、田中孝治さん（広島フレンドの会）、上山新さん（広島フレンドの会）
- 助言者 伊藤氏・物部氏・徳永氏（相談支援専門員）、安森氏（広島フレンドの会 支援者）
- ・参加者数； 108名

**(4) 知的障害の特性とスポーツ支援にかかる調査・協力事業**

広島県及び広島県障害者スポーツ協会と連携し、各種競技会の実行委員会の委員として大会を運営するほか、各種競技会の後援者として大会運営を補助するなど、知的障害児者が気軽に地域の中でスポーツに親しみ、健康の維持と促進を図ることができるよう努めた。

**(5) 全国手をつなぐ育成会連合会・広島県・その他の関係機関との連携（委員の派遣その他）**

- ① 全国手をつなぐ育成会連合会関係
  - ・会長会議（金子会長）
  - ・全国手をつなぐ育成会連合会役員（金子会長）
  - ・「手をつなぐ」編集委員（善川理事）
  - ・中国・四国ブロック長会議（ブロック長；金子会長）
- ② 広島県・その他の関係機関関係（県育成会三役・事務局が出席する主な委員会）

	委員会名	主催者
1	広島県障害者施策推進委員会	広島県障害者支援課
2	広島県障害者自立支援協議会	広島県障害者支援課
3	すべての障害児者と市民を結ぶ県民会議	広島県社会福祉士会
4	運営適正委員会	広島県福祉サービス運営適正化委員会
5	広島県社会参加推進センター全体会議	広島県社会参加推進センター
6	広島県社会福祉審議会委員会	広島県
7	広島県福祉のまちづくり推進協会	広島県障害者支援課
8	広島県子ども・子育て審議会委員	広島県子ども家庭科
9	広島県障害者差別解消地域支援協議会	広島県障害者支援課
10	広島県障害者虐待防止ネットワーク推進会議委員	広島県障害者支援課
11	広島県障害者陸上競技大会実行委員 （全県選考委員）	広島県障害者スポーツ協会

12	広島県障害者スポーツ交流・運営委員	広島県立障害者リハビリテーションセンター
13	広島県障害者スポーツ協会理事会・評議委員会・総務企画委員会	広島県障害者スポーツ協会
14	広島県障害者スポーツ協会法人化専門委員会	広島県障害者スポーツ協会
15	あいサポートふれあいコンサート実行委員会	広島県障害者支援課
16	広島県バリアフリー等地域連絡会議	国土交通省中国陸運局交通施策部

③ 一般社団法人生命保険協会広島県協会との連携事業

○一般社団法人生命保険協会広島県協会からの助成を受けて、アンジュヴィオレ広島とサンフレッチェ広島の観戦に障害児者と家族・支援者を招待した。

- ・アンジュヴィオレ広島 {エディオスタジアム； 5月19日（日）68名参加}
- ・アンジュヴィオレ広島 {エディオスタジアム； 9月14日（土）33名参加}
- ・サンフレッチェ広島 {エディオスタジアム； 12月7日（土）55名参加}

## II 社会参加事業

知的障害のある人の社会参加を支援する事業

### 1 社会参加推進事業

○知的障害のある人が自立した生活を送る力を培うため、仲間とともに様々な研修や体験をする場を提供し、その支援を行った。

#### (1) 本人活動支援

本人同士の諸活動(本人交流会、本人相談会、代表者会)の支援を行った。

- ① はつらつ友の会役員・代表者会を6回開き、県福祉大会本人大会（呉大会）に向けて企画・運営を行った
- ② 中国・四国大会（本人大会）{岡山大会}の開催を支援した。  
「すまいる大会」第3分科会「災害」発表者；友田大輔さん（再掲）
- ③ 地域巡回・本人による本人のための相談会（再掲）を開催した。

#### (2) スポーツ大会の開催、協力

- ① 県障害者陸上大会 {びんご運動公園；5月19日（日）}をはじめ、県各種スポーツ大会予選会を開催し、全国障害者スポーツ大会(茨城県；10月12日～14日台風上陸のため急遽中止)に選手派遣を行った。
- ② 第25回広島県知的障害者スポーツ大会（ボウリング）「2019ボウリンピック in ひがしひろしま」を12月7日(土)賀茂ボウルで行った。26団体194人参加。

#### (3) あいサポートふれあいコンサートの開催、協力

「あいサポーター」の活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）をつくる『あいサポート運動』に賛同し、12月1日（日）東広島芸術文化ホール「くらら」にて「あいサポートふれあいコンサート」を開催した。

### 2 地域生活支援事業

○自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、知的障害のある人や保護者に相談支援等を行うとともに障害の有無に関係なく安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指している。

## 活動部会による事業

### (1) サポートファイルの内容見直し、普及、定着、利活用促進

子育て支援や障害者理解の推進を図るため、平成22年度に育児・育成の管理記録帳（サポートファイル）を作成し、その後、書き方講習会を開催するなど、普及・定着・利活用を促進してきた。平成30年度から内容の見直しに着手している。

### (2) 育成会への加入促進

サポートファイルの普及啓発活動や「知的・発達障害のある子どもを育てる Q&A」の冊子配布等を通して、主に若年層の会員の加入促進に努めた。（再掲）

## 広島県知的障害者相談員研修会受託事業（広島県知的障害者相談員研修会）

広島県知的障害者相談員および各市町障害福祉担当者に向けて、「差別解消法への取組」や「知的・発達障害者が地域で生き生きと暮らせる支援」についての研修会を県内2会場で実施した。

① 三次会場 令和2年2月 3日（月） 13名（うち行政関係者4名）

② 広島会場 令和2年2月28日（金）中止（参加予定29名・うち行政関係者9名）

・講話 「手をつなごう～熊本地震から得られた8つの知恵より」

金子麻由美（一般社団法人広島県手をつなぐ育成会会長）

・講演 「災害時必要な支援、地域での必要な情報、動きについて」

一丸 善樹 氏（社会福祉法人三矢会障害者相談支援事業所リガーレ施設長）

・グループワーク 「災害時、必要な情報や支援について」

進行；柏田 潤子（一般社団法人広島県手をつなぐ育成会理事）

○災害時、必要な情報や支援について話し合い、理解を深める

○情報交換会

## 施設保護者会及び地域育成会の懇談会（5月総会后）

総会終了後に施設保護者会と地域育成会のグループに分かれ、懇談会を実施し、情報交換の場とした。

## きらっと光る人生を考える研究大会

「第8回きらっと光る人生を考える研究大会」（共催；広島県知的障害者福祉協会）

テーマ；「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送る」

日 時；令和2年1月18日（土）10：00～16：10

場 所；広島市総合福祉センター（BIG FRONT ひろしま 5階 ホール）

内 容；(1) 基調提案 「法人連携による地域生活支援を模索する」

米川 晃氏 社会福祉法人柏学園理事長（広島県知的障害者福祉協会会長）

(2) 行政説明「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場の確保と今後の方向」

源河 真規子 氏（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長）

(3) 実践報告「親亡きあと、残された子への生活支援をとおして」

浅井 菜美氏 社会福祉法人みどりの町 障害者相談支援センター タクト

（相談支援専門員）

(4) 講演「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」についての展望

衛藤 晟一氏 内閣府特命担当大臣（参議院議員 自民党）

(5) シンポジウム 「地域でひかり輝く人生を送るために」

～地域で安心して安全に暮らし続けられる支援について考える～

コーディネーター 米川 晃 氏 (広島県知的障害者福祉協会 会長)

シンポジスト 衛藤 晟一 氏 (内閣府特命担当大臣 自民党)

山本 博司 氏 (参議院議員 公明党)

源河 真規子氏 (厚生労働省障害福祉課長)

金子 麻由美氏 (広島県手をつなぐ育成会会長)

浅井 菜美 氏 (障害者相談支援センター タクト)

(6) 参加人数 ; 201名 (含 講師・実行委員)

- ・「はつらつ友の会」会長の田中孝治さん、「呉うたう会」会長の城本房江さんを始め16名の本人が参加し、開会行事にて田中孝治さんと城本房江さんが第18回はつらつ大会(本人大会)の決議文の主旨を述べた。また、「はつらつ友の会」からシンポジストへ質問を呈した。

### 3 『障害者扶養共済制度』の加入促進

- 『心身障害者扶養共済』は、障害基礎年金が制度化される以前に、手をつなぐ育成会が、親亡き後に少しでも安心した生活を送ることができるよう、国に働きかけ運動して制度化された共済制度である。
- ・ホームページへの掲載、研修会でのパンフレットやチラシ配布等、扶養共済制度についての周知、啓発を図るとともに、加入の促進に努めた。

## Ⅲ 互助制度事業 (旧付添看護料共済活動事業)

### 令和元年度 (平成31年度) の取組み (概略)

#### ①加入の促進および定着を図った。

- ・損害保険会社 (A I G) 引受保険会社のジェイアイシーウエスト広島の協力を得て、未加入の多い地域や、施設保護者会への広報活動 (ネットワークを通じた訪問等) を実施し、新たに施設保護者会の加盟をみた。
- ・加入者及び加入支部に対する懇切・丁寧・迅速な対応を徹底した (円滑な事務執行体制の構築)。
- ・広報 (共済だより) は発行には至らなかった。

#### ②互助制度活動運営委員会の開催 (年1回開催予定)

- ・令和2年2月21日 (金) に運営委員会を開催した。開催場所 ; 育成会総合福祉センター
- ・損害保険会社 (A I G) からジェイアイシーウエスト広島を通して、保険料の増額が提示されたが、年間保険料は変更しないことを確認した。

#### 【協議内容】

- ・名称が「付添看護料共済」から「互助制度」に変更されたことによる関係規約の記述の訂正等を確認した。
- ・保険の対象・年間保険料・補償内容は現行のままとする。
- ・年間保険料は、昨年同様に収納代行業者を通して会員の預金口座からの自動払込とし、更新の確認のための文書を送付することとする。

#### ③全国知的障害者互助会連絡協議会と連携し、加盟互助会との情報交換を図った。

- ・令和元年11月20日 (水) に岡山市において開催された連絡協議会に出席し、情報交換に努めた。
- ・今後、連絡協議会の事務局を三重県から広島県に移管することとした。

## IV 障害福祉事業所協議会

### 【活動の基本方針】

障害のある人もない人たちも安心して暮らせる地域（共生社会）づくりの一翼を担える魅力ある事業所をめざす運動を継続して進める。

令和元年度においても、利用者の『高齢化』と『重度化』への対応・支援を最重点に、活動や取り組みを進める。

### 令和元年度（平成31年度）の取り組みの取り組み

- ・新会長として春木 勉氏（八木園：広島市）が就任した。
- ・事業所協議会運営委員会は諸事情のため開催していない。
- ・全国事業所協議会・全国研修大会（静岡大会）へ春木 勉氏（八木園：広島市）が参加した。

開催 県：静岡県

大会会場：静岡商工会議所静岡事務所5Fホール

開催 日：令和2年1月25日（土）